



# お知らせ

## お題は「祭り」 昭和五十年 歌会始詠進歌

官内庁では、昭和五十年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領を決めましたのでお知らせします。

### 一、お題「祭り」

(注) 歌句に「祭(さい)」とよみ込んでもよく、活用形として用いてもよい。また「祀(まつる)」という文字を用いてもよい。

なお、祭りの情景がうたい込まれていれば「祭り」の文字がなくても差し支えありません。

### 二、詠進歌の詠進要領

一人一首未発表のもの  
用紙は半紙とし、毛筆で自書してください。病氣又は身体障害のため自書できない場合は、他人が代筆しても差し支えありませんがその理由の書紙を添えてください。

書式は、半紙を二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名、生年月日及び職業(具体的に)を書いてください。  
詠進の期間 九月一日から十月十一日まで。

### 郵便のあて先

〒100 東京都千代田区千代田一番一号 官内庁とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。  
くわしいことは企画係へ問い合わせてください。(総務課)

## 昭和五十年年度採用 新潟県警察官募集

### 一、採用人員

警察官

① 大学卒 約二十人

② 高校卒 約八十人

③ 採用試験(第一次試験)

日時 十月六日(日曜日)

場所 長岡市、県立長岡工業高校

ただし①は新潟市(新潟南高校) (採用、昭和五十年四月一日)

資格

④ 大学卒業者 昭50.3.31日

まで卒業見込を含む

昭22.4.2日から昭28.4.1日までに生れた者

⑤ 高校卒および一般

昭22.4.2日から昭32.4.1日までに生れた者。

体格 身長 一六〇センチメートル以上。

体重 四七キログラム以上。

胸囲 七八センチメートル以上。

視力 両眼とも裸眼視力〇・六以上又は裸眼視力〇・一以上でかつきょう

正視が一・〇以上。

弁色力 正常であること。

関節力 正常であること。

四、待遇

初任給

大学卒 月額六九、三〇〇円

短大卒 〃 五八、一〇〇円

高卒、その他 〃 五六、〇〇〇円

(上記の給与に約30%のボーナスが支払われる予定)

五、申込み先

各警察署、派出所、駐在所

六、申込みは、八月十二日から九月二十八日まで。

「家庭の日」に関する  
作文・絵画の募集

健全な青少年を育成するために、家庭の果たす役割がきわめて大きいことから、新潟県では明るく楽しい家庭づくりをすすめる契機として、毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め、この趣旨の普及に努めています。これをさらに広く浸透させるため、「家庭の日」

に関する作文・図画(美術)を募集しています。

募集作品

作文の部

資格 県内在住の小・中学生、高校生及び一般

テーマ 「わが家の家庭の日」

「明るく家庭をつくるために」

方法 二つのテーマより一つ選んで、四百字詰原稿用紙五枚以内に縦書きとする。

原稿のはじめに市町村名

学校・学年・氏名(一般

は現住所・氏名・職業・

年令)を記入のこと

〇 図画(美術)の部

資格 テーマは作文の部と同じ

方法、用紙はB列三番(三六・

四cm×五・五cm)画用

紙を使用。裏面に住所、

学校、学年、氏名(一般

は現住所、氏名、職業、

年令)を記入のこと。

(募集期間)

昭和四十九年八月二十一日(九

月二十日)

(送付先)

千九五一 新潟市学校町一

県民生部青少年福祉課

小出病院附属  
看護学院学生  
募集について

昭和五十年四月から入学する准看護婦(士)を次により募集しています。

一、募集人員 三十人

二、養成期間 二年

三、応募資格

中学校卒業以上または昭和五十年三月中学校卒業見込みの者

年令二十才以下の者

四、願書受付開始期日

昭和四十九年十一月一日

願書を受理した後受験票を送付する。

五、願書受付締切期日

昭和四十九年十一月三十日

六、願書受付場所及び検査場所

新潟県北魚沼郡小出町

新潟県立小出病院附属看護学院

七、入学検査

1 検査期日

昭和四十九年十二月五日(木)

2 検査内容

A 学科(数学、国語、理科)

I 面接及び身体検査

八、在学中の待遇

1 授業料は徴収しない。

2 実習用被服を貸与する。

3 希望する者のうち、必要と認められる者について別に定める条例により将学金月額三千円を貸与する。

4 寄宿舎の設置あり、入居料等は不用。

九、在学中の費用

1 学習に要する費用は一切自弁とする。

2 寄宿舎に入居する者の食事代は実費を徴収する。

十、提出書類

入学願書その他必要書類は学院へ申出て下されば郵送します。

(県立小出病院)

## 主な記事

〇 山古志中学校グラウンド 整備工事完了

〇 順調にすすむ 種芋原診療所建設工事

〇 お年寄りに記念品を 消防ポンプ自動車の設置

〇 自動車重量税のあらまし

〇 家屋調査は九月から



## 消火に近代的威力 消防自動車購入

万一に備えて消防自動車を購入しました。消火に威力が期待されています。しかしできる限り、この自動車が出動しないよう、火災に注意しましょう。

村の人口			
-8月1日現在-			
世帯数	991	人口	4,192人
		(男)	2,090人
		(女)	2,102人
出生	7人	死亡	5人
(男)	5・女 2)	(男)	3・女 2)
7月中の住民移動		転入	11人
		(男)	4・女 7)
		転出	6人
		(男)	3・女 3)

### 陸上自衛隊 3回めの協力

## 山古志中学校グラウンド整備工事完了

昭和四十五年秋以来、陸上自衛隊高田駐とん部隊の協力によって山古志中学校建設用地の造成工事を始め、グラウンド用地あわせで約二万五千平方メートルの造成の大事業が行われてきました。

これを基礎として、統合校舎・体育館・生徒寄宿舎・教育住宅及びプールの建設が実施されたわけだ。

このたびは、第三回めの事業としてグラウンド整備工事に協力されることになり、さる七月二十五日、同第五施設群から三十五名の隊員が山古志作業隊として着任いたしました。

作業はグラウンドの面積一万二千八百四十平方メートル(約百二十八・四アール)の表土に六千五百立方メートルを池谷地内の山砂をバケットドーザーで採取し、七台のトラックにより運搬してグラウンドに敷きつめグレーダー等で整地したもので、約二十日の期間中、隊員のみならずは早朝から規律正しく暑さにもめげず高度の技術を生かし機械力を駆使して予定より早く完了されたものです。

八月十七日は同校体育館において、東部方面総監(代理)をはじめ新潟地方連絡部長などの幹部を迎え、山古志中学校建設にかゝる作業終了による引渡式が関係者の感謝のうちに意義深く行われました。

これによって統合中学校の建設工事は、一応(一部仕上工事などを除く)終了し山間地としてはりっぱな建物や施設ができたわけですが、ここで学ぶ生徒たちも住民のみならず関係者の協力に感謝の気持ちをもって有効に活用されるよう、期待されています。



### 順調にすすむ

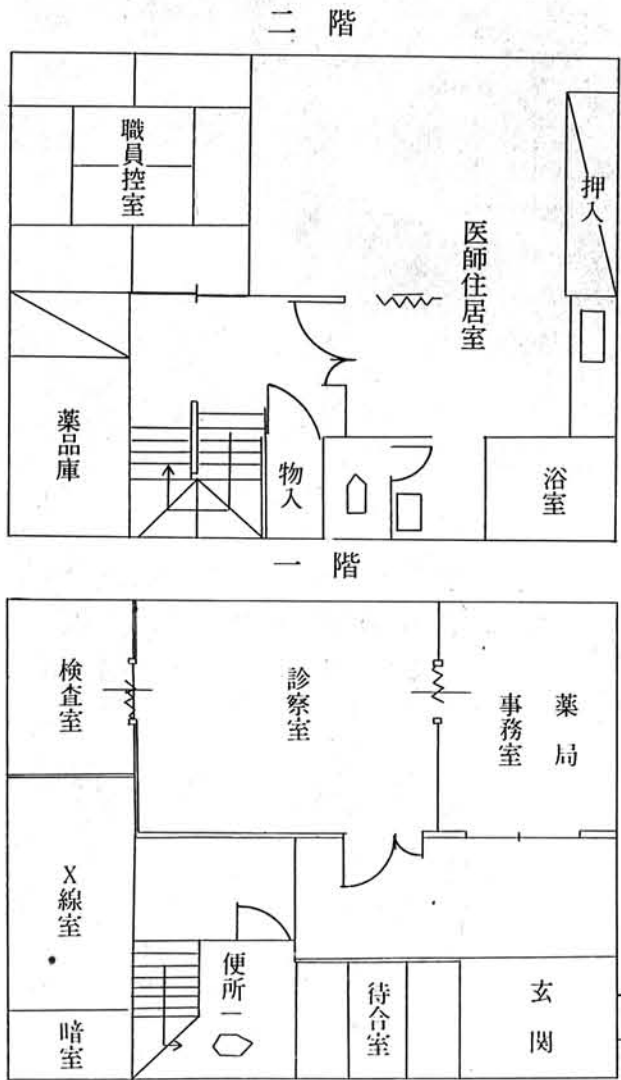
## 種芋原診療所建設工事

診療開始は十一月から

へき地の診療施設を確保するため計画されていた種芋原診療所は、六月の定例村議会で請負契約の議決を行ない、長岡市、吉原組によって種芋原出張所西側の台地で工事がすすめられています。

建物の規模は、鉄筋コンクリート造り二階建ての建物で、平面図のとおり診療室、医師住居室などあわせて百四十四・十八平方メートル(約四四・六坪)となりま

工期は六月二十日から十月十七日まで百二十日要する予定です。この施設が完成することによって、小川医師の居宅から診療施設を移転することになり、降雪前の十一月から診療開始となる見込みです。



## 九月十五日は「敬老の日」

### お年寄りに記念品を

九月十五日は「敬老の日」、各地で敬老会が開かれ、お年寄りに対する各種の行事が行なわれます。この日にちなんで、長寿を祝つて次のかたがたに記念品や色紙などが贈られることになりました。

- 種芋原 佐藤 イト (庄一方)
- 虫 亀 田中 カツ (タカ方)
- 竹 沢 ヨリ (新次郎方)
- 星野 ヨリ (寅勝方)
- 川上作太郎 (寅勝方)
- 樽 木 畔上 ソノ (清四郎方)
- 大久保 五十嵐モト (松男方)

このほか満七十五才以上の方百六十八人全員に記念菓が贈られました。

金婚式ご夫婦四組結婚されて五十年、元気でめでたく金婚式を迎えられた次の四組の方に、新潟県知事よりお祝いの色紙が贈られます。

お年寄りは、長年にわたって世の中のため、家庭のために寄与してきた人として、みんなに敬愛され、安らかな老後を保障されなければなりません。みんなでお年寄りをいたわりましょう。

敬老会の席上などで、よく聞かれる言葉に「元氣だから、まだまだ仕事ができるんだ」と。または、「若い者は、年寄りの言うことや昔のことなどは、みんな古くて悪いものと決めつけ、年寄りの意見など、あまり聞いてくれない」と。……

お年寄りをいたわるあまり、お年寄りを仕事から遠ざけてはいけません。過労にならない仕事はお年寄りの健康にたいせつなことです。

お年寄りの言うこと、昔のこと、よいことはたくさんあります。現代は古い時代の昔のことの積み重ねでできています。老年期は、すべての人に、必ず訪れてく時期です、お年寄りの意見も、大切にしたいものです。

## 九月大雨

### 十月も不順

### 新潟地方の長期予報

▽九月 太平洋の高気圧に覆われて、中旬を中心に暑くなる期間もあるが、月初めごろと下旬には前線の影響で天気はぐずつき、涼しくなる。なお、月初めは天気不安定となり、局地的な大雨の恐れもある。平均気温は並みかやや高く、降水量は少ない。また、日照は並みの見込み。

▽十月 前半は南岸に前線が停滞し、天気はぐずつく。後半は高気圧に覆われて晴れの日もあるが大陸から寒気が入り、曇、雨天の日が多い。平均気温はやや低く、降水量はやや少ない。また、日照は並みかやや少ない見込み。

▽十一月 移動性高気圧に覆われて晴れる日が多い、しかし、下旬には発達した低気圧の通ったあと季節風が強まって寒くなり、山沿えでは雪となるところがある。平均気温、降水量は並み。日照は並みかやや多め。

- 種芋原 敬称略
- 小川 サト (虎一方)
- 長谷川 リク (富吉方)
- 小川 トラ (和助方)
- 金子 長吉 (藤一方)
- 五十嵐 栄吉 (源太郎方)
- 田中 マツ (幸方)
- 峰村 ヒデ (フユ方)
- 五十嵐 チヲ (幸方)
- 沢野 タカ (洋方)
- 星野 ノヤ (義隆方)
- 高野 ヲカ (伊吉方)
- 籠 染 ムメ (伊吉方)
- 浅谷 ムメ (伊吉方)
- 池谷 イシ (誠志方)
- 五十嵐 イシ (誠志方)

また、満九十才になられた高齢者六人の方に新潟県知事より座布団が贈られます。

### 昭和49年 金婚ご夫婦

夫婦氏名	年令	結婚年月日	部落名
樽 沢 重一郎	72	大正12・7・23	種芋原
〃 ヨシ	69		
樽 沢 正一	69	大正13・1・5	〃
〃 ミヨ	69		
五十嵐 忠春	78	大正13・2・2	虫 亀
〃 キヨ	70		
齊 藤 利徳	72	大正13・3・26	〃
〃 ハナ	69		

独り居の老人には必ず声をかけましょう



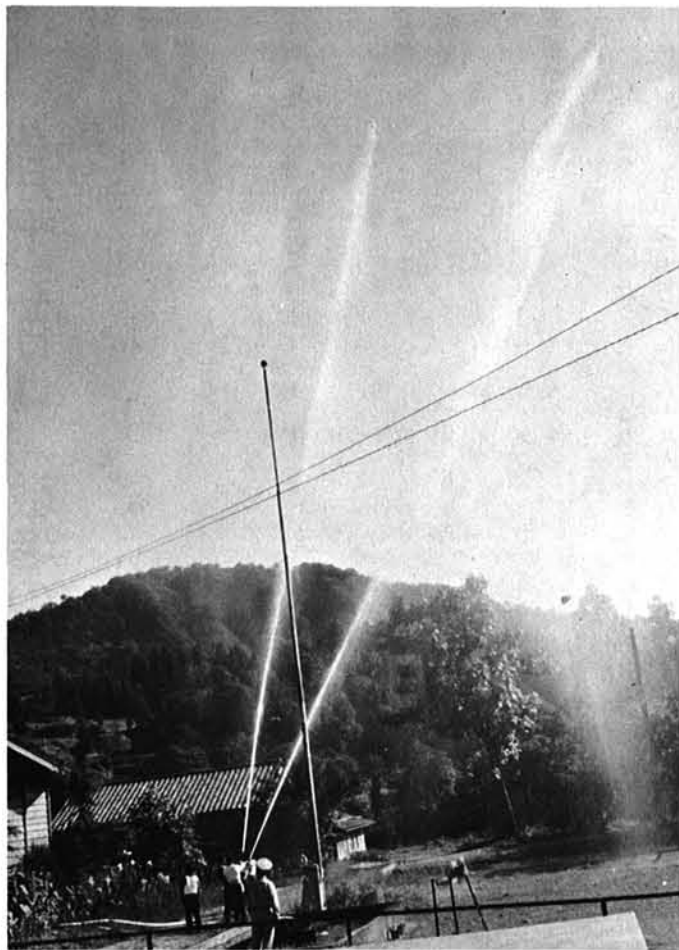


# 消防ポンプ自動車の設置

## 非常備消防一歩前進

災害を未然に防止し、住民の生命・財産を守るために消防防災体制の増強を計画していたところ、このほど消防自動車の第一号を購入し、当分現場内の車庫に常置することになりました。

この消防車はニッサンの車台上に森田式B-D-1型ポンプを装備した近代的なもので、強力な放水と



試運転で威力を発揮する新鋭車

施設の整備を必要としています。したがって地域の事情により、火災発生時は現在の可搬ポンプを主体とする消火活動になります。先づ、お互いに注意し合せて火災は絶対におこさないよう充分に気をつけましょう。

これで、ようやくしのぎやすい「新涼の秋」を迎えたわけですが、九月はいやな台風シーズンでもあります。毎年必ずといってよいほどやってきて、日本のどこかへ上陸します。上陸しなくても、本土近くを通れば大雨を降らせたりして、被害を与えてゆきます。日本ばかりがどうしてそうなのか。わが国が、よその国にくらべて気象の変化が

「防災の日」九月一日

はげしいのは高気圧や低気圧がひんぱんに通る中緯度にあつて、しかもアジア大陸と太平洋の境目に位置しているからだ。と説明されています。そのために自然災害の種類も多く、台風を筆頭に低気圧による風水害、高波や洪水による災害のほか、冷害、霜害、干害など。それに地震、津波、火山爆発など数えあげれば、災害と名のつくもの数えきれないほどです。

政府は、これらの災害について認識を深め、これに対処する心構えをふだんから準備しようと、九月一日を「防災の日」と決めました。決められた理由は、大正十二年のこの日の関東大震災を記念したものです。

国や自治体には防災対策本部があつて高度な研究をしていますが、さて一般の家庭ではどうでしょうか。そのときにならなければどうにもならぬではすまされません。

まず、家族全員そろつて安全な場所に避難することとして、その安全な場所をどこにするか、その時の用意に差し当り「家族防災会議」を開いてよく話し合つておきたいものです。



# くらしのダイヤル

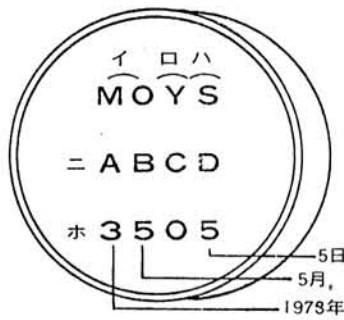
## かん詰め・ビン詰めの話

### かん詰め・ビン詰めの話

ビタミンCも70%以上  
栄養価は、製造されるとき加熱殺菌するので、栄養価はへつていふと思われがちですが、タンパク質、脂質、炭水化物など、かえつて消化されやすくなっています。熱に弱いビタミンCも七〇%以上残るうえに添加も行われるなど、技術も進んでいます。

かん詰めは無菌状態になつていふため、開けたら、普通の生鮮食品よりも早くいただきます。調理済みのものなら、もう一度加熱した方が安心です。ジュース類は清潔なガラス容器にうつして冷蔵します。

ラップの二重ぶたで冷蔵  
中身が見えるので、かん詰めより便利です。家庭用の貯蔵ビンも売っていますが、手製のジャムやピクルスなら、よく殺菌したコーヒのビンなどに詰め、ラップを二枚重ねにしてふたがわりにし、ゴムでとめ冷蔵すれば、相当長く保存も可能です。



### かん詰め覚え書き

表示の打ち出しマークは「ホ」の製造年月日と、「ハ」の材料の形、大小について覚えておいた方がよい。

### 材料の形、大小

- L 大
- M 中
- S 小
- X 混合
- H 二つ割り

- T 四つ割り
- ： スライス
- ： 形のくずれたもの
- (調理の方法)
- W ● 野菜水煮
- L 魚類塩水煮
- N 魚類水煮
- Y 糖液漬け
- C 味付け
- A つけだ煮
- J M じゃム
- O 油漬け
- (原料の種類)
- M O ミカン
- P W モモ(白)
- P Y モモ(黄)
- C S サケ
- B T マグロ
- B L アカ貝
- B F 牛肉
- C B コンビーフ

### かん詰めも食べごろがある。

□ くだもの製造後六カ月から一年が最良。  
□ 水煮魚介類、畜肉は一年までを目安に。  
□ 味つけ製造後六カ月から一年半まで。  
□ 油づけ製造後一年以後の方が味がよい。  
□ ジュースでできるだけ新しいものを求める。

(新潟県消費生活センター発行「くらしの豆知識」から)

# 税の自動車重量税のあらまし

☆どんな自動車にかかるか  
自動車重量税は、自動車検査を受ける自動車(軽自動車を含む)および使用の届出により車種番号の指定を受ける軽自動車に対してその重量に応じてかかります。

※本年五月一日からは、新車で新規検査を受ける軽自動車について、検査の都度、課税されることになりました。

☆納める方法  
自動車重量税は、新規検査や継続検査などを受けて自動車検査証の交付を受けるときや、軽自動車の使用の届出をして車種番号の指定を受けるときなどに、原則として、税額に相当する金額の自動車重量税印紙を、所定の自動車重量税納付書にはり付けて、陸運事務所や軽自動車検査協会の窓口に出して納めるしくみになっています。

☆税率  
自動車重量税の新税率は、表の区分に応じて自動車一台につき、税額欄に記載した金額となります。

区分	車種		乗用自動車乗員10人以下		トラック		税率
	軽自動車	自動車	総重量 二・五トン以下	総重量 二・五トン超	総重量 二・五トン以下	総重量 二・五トン超	
小型	二輪車	2年	1年	1年	1年	1年	自一〇〇〇〇円 営一〇〇〇円
	その他	2年	2年	1年	1年	1年	自一〇〇〇円 営一〇〇〇円
中型	二輪車	2年	2年	1年	1年	1年	自一〇〇〇円 営一〇〇〇円
	その他	2年	2年	1年	1年	1年	自一〇〇〇円 営一〇〇〇円
大型	二輪車	2年	2年	1年	1年	1年	自一〇〇〇円 営一〇〇〇円
	その他	2年	2年	1年	1年	1年	自一〇〇〇円 営一〇〇〇円

# 家屋調査は 9月から

毎年行っている固定資産評価のため、昭和四十九年中に新築や増改築または取こわした家屋について、九月から調査をすることになりました。

- 調査事項
- 1、その家屋の所有者名および所有者の住所。
  - 2、その家屋の敷地の所在地番と所有者名および地積。
  - 3、古材使用の状況、自家用材使用の有無。
  - 4、新、増、改築家屋の場合は各部分の施行の状況。
  - 5、取りこわし家屋の場合は、取りこわした家屋の床面積および所有者名。
- 調査対象家屋
- 1、本年一月二日から昭和五十年一月一日までに新築、増築または改築した家屋。
  - 2、本年一月二日から昭和五十年一月一日までに全部または一部をとりこわした家屋。
- なお、留守になりがちな方や、ことし家屋の全部または一部を取りこわされた方は、あらかじめ税務課へご連絡ください。



諏訪明神を、祭神としている鎮守様は、山古志村に三部落ある。虫亀、檜ノ木、木籠のそれぞれ、このほかにあるならば私の調査が粗雑であったことに原因があるわけだ。

はじめは虫亀から、此処の鎮守様にかかげられている額には「諏訪宮」と書かれている。かつては、山古志二十村郷の部落民を、楽しませ、喜ばせ、かたがた社交の場の性質を持っていた、闘牛場の上に鎮座している。一時代さかのぼった昔、明治の文豪として有名な、夏目漱石の娘を、同じ小説家久米正雄氏と争って勝とり、その艶名で名があり、蓬平か、濁沢に縁故関係があった、松岡稜氏の著書に「法城を護る人々」がある。その中にこの闘牛場と蓬平、濁沢街道の風景が、よく描写されていたように記憶している。

その闘牛場も、今は猛牛闘争の咆哮怒声もなく、夏七月の陽ざしは暑く、鳥の声、虫のすだきも聞えなかったが、それでも場所には昔の面影をそのまま残し、しかも、誰か手を入れたのか、草花が植えられそれが静寂のな

かに美しく咲いていた。世の中は、まるっきり変わったのだからと、思いながらも往時を知っているものの感慨を、深くすること一入だった。鎮守様の鳥居は、いわゆる台輪鳥居と呼ばれている鳥居、その鳥居から三三三、二五段、あるいは二二二の石段があり、それを通じて本殿の奥まで、天保年代の塞念仏の供養塔や、地蔵菩薩、天王様、津島様、ほいん様、昆沙門天、慰霊碑、遺徳碑の数々が整然と虫亀の長い歴史を物語っていた。大木木立のすくないせいか、神社境内でありがちな、空気の湿っぽさもなく、しかも、よく清掃され管理されているのに、流石は大部落、虫亀の貫禄は他部落の追随を許さないと考えたが、あとの話では、この部落に宗教的関係の同志が相寄り、「解脱会」なるものをつくっておられる由。その方々が月何回か相集っての奉仕だそうである。いづれにしても、ほのぼのとした話だ。扉があかないので、中を拝観することは出来なかったが、金倉山、山ふところの丘陵に鎮座している虫亀の鎮守様である

村の鎮守様 修 野 軍 造 (56)



帰省客も見える大観衆……  
本番さながらの闘牛トレーニング

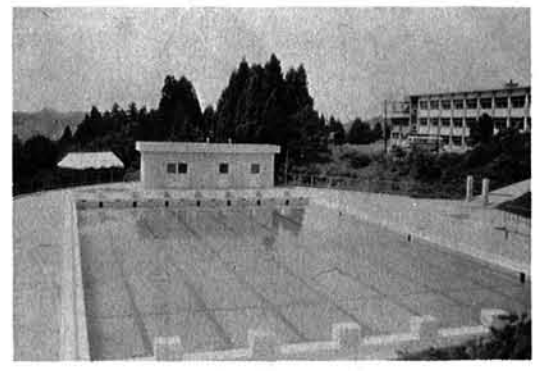


東部方面総監代理から完成書を受けとる村長  
8月17日山中グランド整備工事引渡式

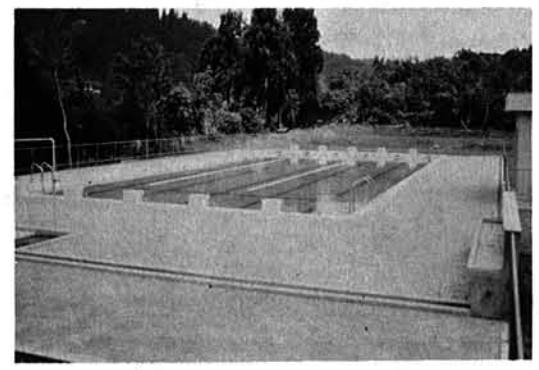


地域外からも集まって  
賑わった虫亀地区の盆踊り

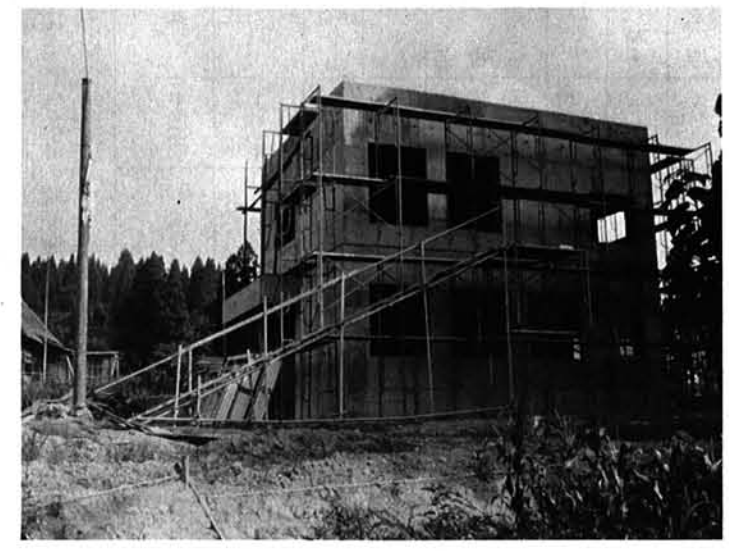
出来上がった山古志中学校プール



7月末に出来上がった池谷小学校プール



工事中の種苧原診療所



## カメラスケッチ